

童

2020年12月24日。

美しい大地の雪景色。新雪が積もった朝の景色は最高です。大地は 人工物人造物建物が見えない場所風景を考慮して設計建築したので、まさに原生林のような冬景色です。足跡を残すのももったないぐらいの真っ白な世界。

久しぶりに年内 2 学期のうちに雪が積もりました。コロナ対策で、登園時からスキーウェアを着用して、そのまま火にあたりながら朝の会をして、午前中はずっと外遊び。たっぷり2時間以上は外で過ごす生活。雪景色の中、たき火にあたりながらの光景は まさにお話「12の月のおくりもの」そのものです。

朝の会の後は、そのままソリ遊び雪遊び。年少のかげさん達は、ソリよりも、雪食べ。じっとしてあちこちで食べまくっています。そのおかげで、トイレの回数が多くて、トイレで靴を脱がすよりも大地の裏へ直行して済ますのが茶飯事です。まさに雪ならではの光景です。

魅力的な大地のスロープは、絶好のソリコース。今年は、連続ジャンプ台にしたので、こちらも大盛況。いいコンディションに恵まれて大きい子ども達はパワーいっぱいです。

初めて楽しんだクロカン。毎年説明しますが、クロカンというと、歯を食いしばりながらコースを何周もして頑張っているイメージですが、大地は 歩くスキー スノーシューや長靴と同じように、雪の中を歩く手段です。うまいへたではなく、老若男女幼児でも歩ける人は、誰でも楽しめます。家庭親子でしたら、未満児でも楽しめます。(未満児年少児専用大地オリジナルスペシャルスキー 作り方も伝授できます、興味のある方はどうぞ)

最初はあちこちで七転八倒していましたが、どんどん歩けるようになり、リンゴ宝探しまでして盛り上がりました。歩くスキーは、自然と一体となり、ゆっくりしたペースで楽しめる雪上ハイキングの道具です。ぜひ、親子で楽しんでみたいいかがでしょうか。

コロナ対策のおかげで、雪の世界を十分堪能できているのは、逆に感謝です。物事、自然に逆割らずに流れを受け入れていけば、思いがけなく自然ないい方向に進んで行くものですね。

まもなく冬休み。このご時世を受け入れて、あがく事なく自然に沿った暮らし はじめの一步を楽しみましょう



【もちつき】

青山家恒例の年末餅つき。今年も、2才3才の孫から93才89才の両親まで揃って大雪の中集まりました。ここでも、各家庭、餅のトッピング材料一品持ち寄りです。89才の母親は、もちろん恒例の自家製小豆のあんこです。

長男夫婦 次男夫婦 長女ブレ夫婦 長男の妻の母親(末っ子は残念ながら2日前に野沢温泉スキー場へ出稼ぎにでかけた。次男の妻の両親は今年欠席)達が、盛り上がり入り乱れて餅つきが始まりました。その熱気に、晴れ間が出てきて絶好の雪景色。大地のスロープや裏山には、すでに朝から雪板(金具のないスノーボード 皆ベニヤ板で作った自家製)の跡。子ども達は、それぞれ自分の雪板を持参しての餅つき。孫達は、餅をつまみながら雪食べ。

両親や私たちを含め全て夫婦円満に勢揃いしている光景。親としては、夫婦がいつも仲良くしているのを見るのは本当に幸せです。それにしても、青山家の子ども達は、いつも見ればどこでも仲良くべたべたしている。人目をばからず通称イチャイチャしている。お互いそうなのだから、皆伝染していくようです。

更に、兄弟夫婦同士もこれまた仲がいい。兄弟会と称して、あちこちの家庭に集まり、食べ合い語り合っているらしい。一緒にご飯を作ったりお互いにもてなしたり。休日の遊び友達は、兄弟家族の事も多いらしい。それぞれの家族は、食べ物も暮らし方も違うのに、それぞれを受け入れてお互いに否定せずに、尊重し合って認め合って楽しんでいる姿。特に、長男は小さい時から姉弟達に優しく、兄弟の要であったように感じるし、今でもそうである。妻の良いところを受け継いでくれた。それは、子ども達4人に引き継がれていて、妻の子育てに感謝の一言であります。最近、更にその仲が深まっているように感じます。

それは、京都の母親のお陰でもあります。兄弟達は、それぞれ学生時代に京都で居候したりお世話になったりしていたので、この母親からは格別な愛情をもらっていました。結婚してからも訪れたり、体調を崩してからも、皆でお見舞いに行ったり。入院してからは、兄弟で揃う機会が多くなり、京都の家では亡くなる3-4日前までは、毎晩遅くまで、兄弟夫婦達が語り合っていたらしい。長男夫婦は、語るのが大好きなので、「皆 相当仲良くなったよ」とうれしそうに語っていた。

兄弟達の雰囲気バランスを作るのは長男 幹事役でいろいろ立案するには次男 面白がって演出するのは長女 天然で皆にいつまでもからかわれているのが末っ子。料理やお菓子や食べ物をいつでもどこでも作るのは、長男次男の妻と長女。本当に素晴らしい適材適所の人達が バランス良く揃ったものだ。そんな光景を、見ているのは本当に幸せです。

昼食は、もちろんお餅パーティ。赤米玄米餅と白米餅の紅白餅をベースに、それぞれ持ち寄ったユニークな絶品のトッピングをつけながら、にぎやかな餅パーティ。ここでも、しっかりと夫婦ベタベタ寄り添って離れずにきちんとうれしそうに食べている光景がありました。

一休みした後、皆スキーウェアに着替えていよいよ雪遊びに出かけます。昨年もそう言えば、雪不足であったにもかかわらず、餅つきの日に雪遊びをした。もちろん、孫達もスキーウェア装備。2匹のワンちゃんも一緒です。大地のあちこちのスロープを雪板で皆で滑りはじめました。もちろん、孫や犬も抱えて滑っていきます。その姿の面白いこと、それでも、孫を乗せてあんな場所で滑り降りるのを見るとハラハラしましたが、子ども達3人、そして長男の妻も、長女の夫も山小屋経験者であり、スキー場パトロール経験者でもあったのです。次男の妻だけは、うれしい幸せな体調になったので、犬たちと一緒にこの素晴らしい光景を見守っていました。

夕方になり、明日のコンサートの準備もあるし解散と思いきや、長男夫婦がもう一晩泊まるということになり、それではこのピーガン家族のために、夕食をもうひと頑張りするかとおもいきや、この家族も食べれる皆のお気に入りのレストランに繰り出すことになり、青山家大移動。ここでも大いに盛り上がり帰宅は8時過ぎ。青ちゃんは、子ども達の食欲に圧倒され、腹八分目。前々日のラーメン給食のかえしとスープが残っていたので、卵白不使用の麺を入れて食べていたところ、長男夫婦もこれなら俺たちも食べれると言って、2人で3人前の麺を入れて食べ始めた。さすが、一日で8合の玄米を食べる夫婦である。

その後コンサートの仕込みをしていた時、長男や次男が スキーやボードを貸してくれと言ってきた。いつの間にか、明日 長男次男長女の3人でパウダースキーに早朝から出かけることになったらしい。そのうれしそうな顔はすごかった。特に、長男は、世界中に多くの友達がいる中で、兄弟達と滑るのが一番うれしらしい。帰ってきた時の兄弟のうれしそうな顔は、小さいときの無邪気さそのものであった。2日後、長男から連絡があった。野沢温泉で末っ子と一緒に温泉で盛り上がり、楽しく働いているとの報告。さすが、長男、末っ子の事も忘れていない!!